

**2026/8/30（日）令和8年度つるおか森の時間
「夏緑樹林を散策しよう」 活動報告**



【開会式：山形県立自然博物館】

天気は小雨。

鶴岡市役所に集合後、マイクロバスで西川町にある山形県立自然博物館へ向かい、開会式を行いました。



【山形県立自然博物館】

午前中は3班に分かれて、インタープリターの方々から山の歴史や森の特徴などについてお話を聞きながら森林散策を行いました。

雨の中ではありませんでしたが、木々が屋根の代わりとなっていたためあまり濡れず、雨の日ならではの森を観察することができました。



【山形県立自然博物館：1班】

ブナ林を歩いていると、さまざまな植物に出会うことができます。例えばこの実、皆さんおなじみのヘーゼルナッツ（ハシバミの実）なんです！

一見わかりにくいですが、よく見るとなんとなく面影がありますよね。



【山形県立自然博物館：1班】

散策していくと川の音が聞こえ、その側には元玄海出土の石碑がいくつか並んでいました。

「元玄海」とは、大台野から月山山頂へと続く古道「玄海古道」の途中に位置する地名で、明治時代以前に山岳信仰の修験者たちが修行を行っていた場所でもあります。

**2026/8/30（日）令和8年度つるおか森の時間
「夏緑樹林を散策しよう」 活動報告**



【山形県立自然博物館：1班】

山形県立自然博物館内に広がるブナ林は、雨水を蓄えて水をきれいにする天然のダムとして豊かな土壌を育み、川や海を豊かにする重要な役割を担っています。



【山形県立自然博物館：1班】

ブナ林の中を進んで行くと、ひっそりとたたずむ「周海沼」にたどり着きます。周りの木々が鏡のように映り込み、晴れた日にはもっとエメラルドグリーンに見えるとのこと。

冬の時期には、池に積もった雪の上でごはんを食べるんだとか！



【山形県立自然博物館：1班】

この巨木はトチノキ（愛称：トチノザウルス）。狭い穴を「産道」に見立ててくぐり抜けることで、新しく生まれ変わるのだそう。

実際にくぐって、大自然のパワーを体感している参加者の方もいました！



【山形県立自然博物館：2班】

ブナ林の中には、クマ除けの音を鳴らす一斗缶がいくつかぶら下がっていました。クマ鈴より低くて大きな音が鳴り響きます。皆さんで鳴らしながら安全に気を付けて進んでいきました。

2026/8/30（日）令和8年度つるおか森の時間
「夏緑樹林を散策しよう」 活動報告



【山形県立自然博物館：2班】

1班で紹介した「周海沼」の近くには、三角形のとがった屋根が特徴的な「野鳥観察小屋」が建てられています。

冬にはこの屋根くらいまで雪が積もるため、スノーシューなどで登ってまたがる体験ができることもあるそうです。



【山形県立自然博物館：2班】

野鳥観察小屋の中から見た周海池はこんな感じ。

ほっと一息つきながら野鳥の様子を観察したり、四季折々の景色を眺めたりすることができます。



【山形県立自然博物館：2班】

小さくて赤い実をつけているのは「トチバニンジン（栃葉人参）」。葉がトチノキのものに似ていることに由来しているそうです。10個ほどの実がまとまってついています。



【山形県立自然博物館：3班】

黄色く縦長い花の名前は「オタカラコウ（雄宝香）」。地下にある根（根茎）が「宝のように貴重な香」に似た強い香りを持つことに由来しているそうです。

**2026/8/30（日）令和8年度つるおか森の時間
「夏緑樹林を散策しよう」 活動報告**



【山形県立自然博物館：3班】

山形県立自然博物館内に流れる石跳川。

丸みを帯びた大きな石が多く、とても澄んだ水が流れています。石の上を跳びながら歩くことが名前の由来だとか…。

近くにはサワグルミが多く生えており、小さな実がたくさん落ちていました。



【山形県立自然博物館：3班】

タムシバの枝からは、さわやかでちょっと甘い香りがしました。昔は山歩きや山仕事の際、口をすっきりさせるためであったり、食後の簡易的な歯磨き代わりにしたりと親しまれていたようです。



【山形県立自然博物館：3班】

散策をしていると、雨の日ならではの「樹幹流」を見ることができました。「樹幹流」とは、森林に降った雨が葉や枝に受け止められ、最終的に木の幹を伝って根元へと流れ落ちていく現象のことで、ブナの木は雨水を受け止めやすい形状となっているため、手を添えるとすぐに水がたまりました。



【山形県立自然博物館：3班】

「月山の湧水」からはコンコンと水が湧き出ており、口当たりがよく飲みやすかったです。

豊かな自然に蓄えられ、400年ほどの年月をかけて地表に湧き出ているのだそう。

2026/8/30（日）令和8年度つるおか森の時間
「夏緑樹林を散策しよう」 活動報告



【山形県立自然博物館：ネイチャーセンター】

昼食後は2班に分かれて、交互にクラフト体験と映像鑑賞を行いました。

クラフト体験では、輪切りの木を使ったキーホルダーを作りました。森林内の様々な木が準備されており、それぞれ木の模様や色などを見ながらじっくり選びました。

自分だけの土台を選んだら、博物館内で見られる鳥や植物、粘菌などのハンコを、全体のバランスを見ながら色鮮やかに押していきます。ハンコが押せたら紐を通して完成です！



【山形県立自然博物館：ネイチャーセンター】

映像鑑賞では、自然博物館内に多く見受けられるブナの木や四季に合わせて顔を変えていく山の特徴、動物たちの生活などを知ることができました。



全ての行程を終え、閉会式を行いました。

閉会式では、先生方からの講評と参加された方3名から感想をいただき、マイクロバスに乗って市役所へ帰り解散となりました。皆さま、大変お疲れさまでした。